

マイクラで大湊高校舎

東奥日報 令和5年2月22日(水)

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

(第三種郵便物認可)

東 奥

むつ市の大湊高校（千葉栄美校長）の3年生3人が、仮想空間で建物や家具などのものづくりができるゲーム「マイクララフト」（マイクラ）で、同校校舎をつくり上げた。同校は、県教育委員会が進める県立高校再編により、6年後の2029年3月に閉校となることが決まっている。3人は3年間過ごした学びや惜別の思いを重ねながら、外観から各教室や内装に至るまで丁寧に仕上げた。

再現したのは情報コースの斉藤士和さん、若山維月さん、杉本斗耶さん。表現メディアの授業

マイクラで大湊高校舎

3年生3人 惜別の思い込め再現

の二環として、昨年12月から約1カ月半かけて完成させた。校舎のほか、体育館、生徒会館、正面玄関前の駐車場、駐車中のスクーターバスまで再現。3人も出来には満足しており、若山さんは「初めてつくった割にはリアルにできた」と高評価。杉本さんは「自分の教室は思



い入れを込めてつくった」と振り返り、斉藤さんは作品を見て「思ったよりも大きい校舎だったんだな、と気づいた」という。

同校は年度内にも作品をホームページに掲載。卒業生を含めて誰でもアクセスできるようにする予定。

来年度以降は後輩に引き継ぎ、国道503号から校舎に向かう坂道や校舎の背後にそびえる釜臥山といった周囲の様子も盛り込むなど、さらに完成度を高めていく考えだ。（熊谷慎吉）



【写真上】マイクラで大湊高校舎を再現した（左から）斉藤さん、杉本さん、若山さん【同下】6年後に閉校となる大湊高校の校舎